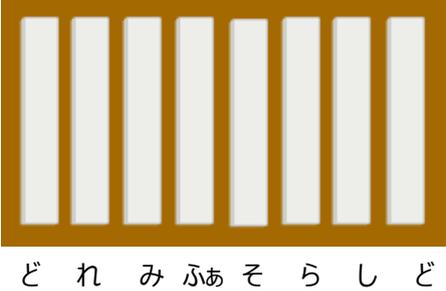
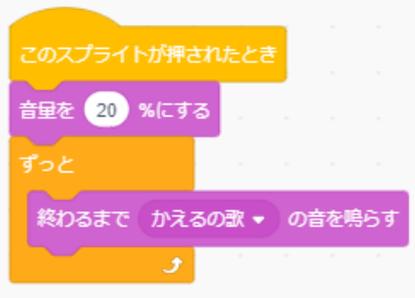


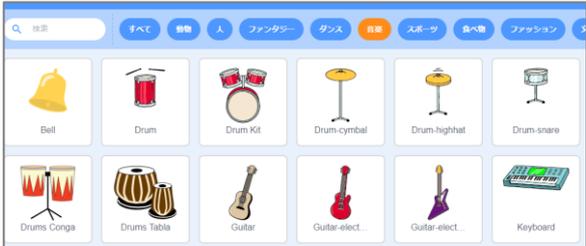
WHY プログラミングを活用した応用— 3

自分だけの楽器をつくれ

	<p>【前準備】拡張機能追加ボタンから、「音楽」を追加する</p>	
<p>1</p>	<p>鍵盤をクリックすると音のでるようにしよう</p> 	
<p>2</p>	<p>鍵盤を 7 個コピーして並べよう 名前を変更するとわかり易くなります</p>  <p>ど れ み ふ あ そ ら し ど</p>	<p>「ど」の鍵盤を右クリックして複製する</p>   <p>「れみふあそらしど」などに名前を変更</p>
<p>3</p>	<p>それぞれの鍵盤の音符を変更する</p> 	
<p>4</p>	<p>「音楽スタート」ボタンで音楽が流れるようにしよう スクリプトにプログラムを作成 (音量を小さめにするとよい)</p> 	
<p>5</p>	<p>「音楽ストップ」ボタンで音楽が止まるようにしよう</p> 	

6 他の楽器を追加してみよう

①新しいスプライトで楽器を追加
②追加した楽器のプログラムを作成
(音の種類を選択)





いろいろ工夫してみよう

楽器のコスチュームを替えて動きをつけてみよう



楽器を打つたびに背景を一時的に変えて見よう

(※すきな背景を追加)




←追加した背景を表示させる

←終わったらもとの背景にもどす

鍵盤をたたくたびにとホーンを動かそう

①鍵盤の楽器のプログラムにイベントの新しいメッセージを作成
(例:「音をだす」)



②ホーンのプログラムに「音をだす」を受けとったらコスチュームを変えるプログラムを追加



